



## レンズで キャッチ



### 新潟ハーフマラソン2019

#### 5,000人のランナーが駆けつけた！

3月17日(日)、同ハーフマラソン大会が、中央区および江南区をコースに開催されました。第3回目となる同大会には、県内外から約5,000人が参加。晴天に恵まれた中、江南区内を激走しました。

沿道にはたくさんの区民が集まり、手を振ったり声を出したりして応援。コースのあちこちで、「がんばれ〜」という声援が響きました。

デンカビッグスワンスタジアムでスタート！



上：イオンモール新潟南付近を疾走する選手たち  
下：江南宣隊「ユメレンジャー」と謎のDJ

上：第一給水所、準備万端！  
下：曾野木地区でイチゴをもらって元気百倍！

上：今年もコスプレランナーが多数参加  
下：選手であふれる、曾野木地区の合流地点。

上：旧酒屋小学校前。子どもたちとタッチ。  
下：自治協議会委員も大会を盛り上げる！

### かめだ梅まつり「梅畑スタンプラリー」

#### 梅畑を気持ち良くウォーキング

3月24日(日)、毎年恒例の同イベントを開催し、今年は約1,300人が参加しました。今年は梅の花の開花がやや早く、咲き具合が心配されましたが、イベント当日にはほぼ満開。朝方は雪が降り、気温の低い中でのスタートとなりました。

お昼に近づくにつれ、陽が差して、いい天気。参加者は、梅の花の記念撮影などをしながら、ゆっくり散策を楽しみました。



開通したばかりの梅の里通りを歩く参加者



上：区役所前の梅もほぼ満開  
下：区役所前では選挙の啓発運動も

上：アンケートを書いて、梅干しをゲット！  
下：初の試み「お茶席」。ほっと一息。

今回咲いた梅は、6月上旬から7月上旬に収穫時期を迎え、亀田郷全体で約60トンの藤五郎梅が出荷されるのじゃ。藤五郎梅の2つの特徴を紹介するぞい。

#### 大粒で肉厚、豊富な果汁

藤五郎梅の実の平均的な直径は4～5cmと標準的な梅より大粒で肉厚なのじゃ。果肉には繊維が少なく、果汁が多いのが特徴じゃ。

#### キレのある爽やかな酸味

藤五郎梅は、ずば抜けた酸っぱさが特徴で、加工しても酸味が消えにくいと言われているぞい。その酸味のもとになるのは藤五郎梅に含まれる有機酸で、特にクエン酸、リンゴ酸が豊富に含まれているのじゃ。



江南区親善大使「藤五郎じい」